

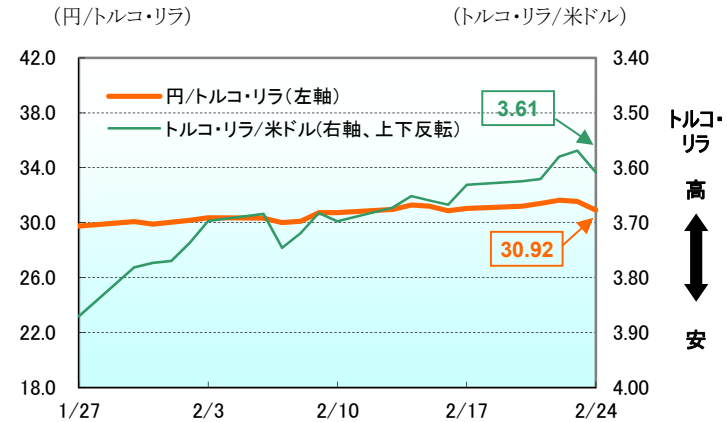
トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年2月18日～2017年2月24日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は、1週間を通して見ると対米ドルでは上昇する一方、対円ではほぼ横ばいでの推移となりました。また、2年国債は金利低下となりました。特段重要な経済指標の発表はなかったものの、足元では、トルコ・リラが高金利であることなどが選好され対米ドルで堅調な推移となったことを受けて、トルコの2年国債金利も低下しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年1月27日～2017年2月24日)

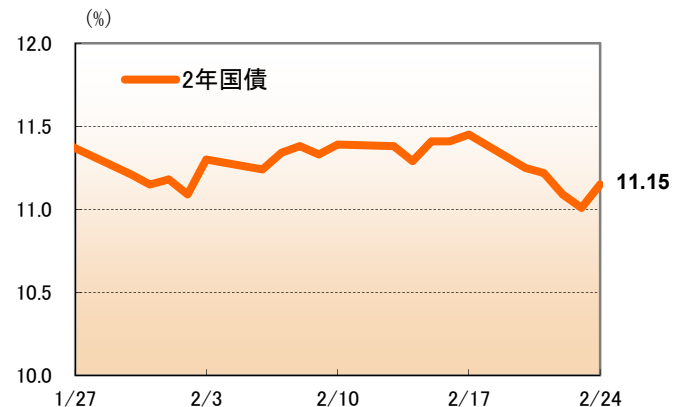


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は、1月の貿易収支や2月の消費者物価指数などの発表が予定されています。与党AKP(公正発展党)は、大規模な集会をアンカラで実施するなど、実権型大統領制への移行を問う国民投票に向けて、賛成投票を呼びかけていますが、足元の世論調査では賛否が分かれている様です。引き続き、国内要因としては、憲法改正をめぐる思惑など政治的動向に注目が集まりやすいと考えられます。また、外部要因としては、米国のトランプ大統領の政策に左右されやすい環境が続くと考えられます。

【トルコ 金利推移】 (2017年1月27日～2017年2月24日)



【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
2/28	月次	1月	貿易収支	-	-56.0億ドル
3/3	月次	2月	消費者物価指数(前年同期比)	-	9.22%
3/3	月次	2月	消費者物価指数(前月比)	-	2.46%

※「主要経済指標」は、資料作成時点のデータを基に作成しております。

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>